

経営改善普及事業取組事例集

【企業概要】

事業所名：〇〇 資本金：3,000千円 業種：ネイルグッズ販売及びネイルサロン
従業員数：4名 支援テーマ・内容：[経営革新]ネイルグッズのネット販売と離れた場所にある実店舗ネイルサロンを一箇所に集約させることで効率的な人材活用を可能にする。

【支援に至った背景～経緯】

配送センター兼倉庫兼事務所である当社社屋と、市内大型店に開設した実店舗との距離が離れており、実店舗への来客は夕方以降に降かないことから、人材の効率的活用とネット販売、新たな事業展開であるネイルサロンを統合することで事業効率を引き上げることを計画。そのための新社屋兼店舗を、市内一等地に新築したいとの相談で平成22年12月に当社社長が来所。

【支援の経過】

平成22年12月相談の受付と専門家派遣の申し込み、専門家との日程調整、当該事業所への往訪、金融機関との話し合い、計画書の作成。
平成23年3月三重県に対し経営革新計画承認の可能性を探りながら最終の詰めを行い、申請書を提出。
平成23年4月三重県から4月12日付で承認となる旨の連絡、土地取得、建物建設、大型店テナントからの店舗撤退。

【支援のポイント】

①直面する課題の整理
新店舗建設に当たって必要とする資金合計55百万円を新たに融資で調達するためには、現状の年商68百万円、借入金17百万円を考えると、経営革新計画の承認がなければ不可能と判断。

【支援の効果・成果】

- 経営革新計画実現のための資金調達
経営革新計画申請が承認されたことにより、年商を超える残高になる融資が受けられた。
- 計画外の追加設備(追加融資)
サロン併設によりゴージャス感を出すために計画よりも照明器具のグレードを上げ、また店舗表側の客用駐車場は店舗との段差があり車椅子での入店がしにくいいため、段差のないフラットな裏側の社員用駐車場をアスファルト舗装することで、車椅子での入店が可能になるが、それには300万円の追加融資が必要。日本公庫へ経営革新計画の概要説明と、商工会議所が全面的に支援していることを伝え、結果満額の融資の承認を受けた。

【支援策企業の声】

- 経営者の持っている計画概念を具体化し、整理してもらった。
- 経営革新計画を実行に移すためのタイムスケジュールを作成してもらい、金融機関との交渉と土地取得のための手付金支払い、工事の着工から竣工、実店舗撤退時期等をタイムラインに整理
- スピーディーに支援が受けられた。
- 現状では年商も頭打ちになるところ、年商1億円を目指すための具体的ステップを経営革新計画に位置づけることで、悲願達成への可能性を高めた。